

電機・情報ユニオン

2021年7月10日 第118号
 発行 電機・情報ユニオン
 〒142-0043 東京都品川区二葉
 2-20-8染野ビル2F
 Tel03-6421-5323、Fax03-6421-5324
 Email: denkiunion@gmail.com

たたかいと成果を交流 第3回電機リストラ 反撃交流集会

たたかいと職場の状況を発言

- 神奈川支部組合員
日立社会情報システムでの低評価、低賃金をめぐるたたかい
- 東京支部組合員
ルネサスでのグローバル化する会社施策と経営理念の刷り込み
馬場 豊彦さん
日立茨城のリストラ状況と日立リストラ茨城対策会議の取組み
- 群馬支部執行委員
沖電気での労働者犠牲の子会社への転籍に対するたたかい
- 愛知支部組合員
三菱電機でのパワハラ実態の告発と団体交渉申入れ、記者会見
- 神奈川支部組合員
日立ICTBSでの退職強要、「追い出し部屋」とのたたかい
- 神奈川支部組合員
富士通でのジョブ型制度の状況
- 東京支部組合員
富士通での再雇用労働条件の是正、追い出し部屋告発の取組み
- 東京支部組合員
日立での職場の実態と労働者の意識、ジョブ型制度の状況
- 伊草 貴大さん
不当解雇撤回のたたかい、裁判闘争の状況
- 中正司 光幸さん
不当解雇撤回のたたかい、裁判闘争の状況
- ソニー労組 松田 隆明 委員長
デクセリアルズでの退職強要のたたかい
- 東京支部組合員
コロナ禍での障害者雇用の処遇状況

電機リストラ反撃交流集会実行委員会は6月6日(日)、「ポストコロナ人間らしい働き方を」第3回電機リストラ反撃交流集会」をオンラインで開催し、59名が参加しました。

開会あいさつで電機労働者懇談会の今井節生代表は、コロナ禍に乗じて常時リストラに加え「ジョブ」型導入で雇用破壊が進められていくこと、東芝では社長辞任に示された経営の迷走を

発生させていることを報告し、「現場のたたかいと成果を交流し、黒字リストラをどのようにしてはね返していくのかを深めていこう」と呼びかけました。

外務省パンフ、国際労働基準 たたかいに活用しよう

米田徳治実行委員長(電機・情報ユニオン中央執行委員長)が「電機リストラとの闘い 資本の攻撃の特徴と闘い」をテーマに基調

講演を行いました。

米田実行委員長は、電機産業のリストラの実態が60万人を超え、コロナ禍の中でリストラ策が「個別、各個」撃破的に続いていることを、1万人以上を人員削減した10社の連結決算指標(従業員、売上高、営業利益、内部留保の各推移)を示して解説。また、電機リストラはすべてが労使合意で行われていること、ユニオン組合員のたたかいが示

すように電機・情報ユニオンがたたかひの砦としての役割を果たしていることを報告しました。

米田実行委員長は、4月に発行されたビジネスと人権に関する外務省パンフの内容を紹介し、「電機リストラから雇用と生活と権利を守り、地域経済を守るたたかひと運動に国際労働基準を大いに活用していこう」と訴えました。

泣き寝入りせず
声をあげてたたかおう

コロナ禍でのたたかひと職場の状況を13名が発言しました(発言概要を左上表に示します)。
日立社会情報システムで(2面に続きます)

第118号の紹介

- 1面 第3回電機リストラ反撃交流集会
- 2面 第3回電機リストラ反撃交流集会
米田委員長メッセージ95
- 3面 第49回組合員の集い 東京支部
労働法は私たちの味方part2
- 4面 三菱電機株主総会行動
告知板、あとがき

(1面からの続き)

働く神奈川支部の組合員は、直近の業績評価において1/5(最低位)という恣意的な低評価を付けられたこと、入社以来の賃金が日立グループの年齢別最低賃金以下であることを報告し、「ユニオンや日立懇にご助力いただき、戦いを粘り強く継続していきたい」と発言しました。

ルネサスで働く東京支部の組合員は、国内従業員が3万3000人から1万人を切るまでに削減される一

方、海外従業員は大型買収により国内従業員数とほぼ同数になったこと、人員削減と賃金減額による固定費の大幅削減、相次ぐ工場閉鎖での集約品への駆け込み需要による一時的な利益が、海外企業の買収につき込まれる構図となつていていることを報告しました。

日立リストラ茨城対策会議の馬場豊彦事務局長は、日立が茨城県下の事業再編・売却を加速させ、日立本体やグループ会社から「日立マーク」が消え、企業城下

町が大きく揺らいでいること、雇用と地域経済を守るために日立リストラ茨城対策会議を昨年結成し、学習会や門前配布に取り組んでいることを報告しました。

群馬支部の執行委員は、沖電気が受託生産部門の労働者750名を賃金の1割削減などの労働条件の引き下げで関連子会社へ転籍させるリストラに対して、沖電気の職場を明るくする会と共同して、職場新聞「あすなろ」とリストラアンケータを配布したことを報告し

ました。

三菱電機で働く愛知支部の組合員は、上司の業者との不正行為を質したことでパワハラを受け、休職や「追い出し部屋」に追い込まれたこと、先月に是正措置を求めて団交申入れや記者会見を行ったことを報告し、「労働者は泣き寝入りせずに声をあげていかなければなりません。一人ひとりの声は小さくとも団結すれば大きな声となります。力を合わせて頑張っていきたいと思います」と訴えました。

閉会あいさつで、米田実行委員長は、日本政府が「ビジネスと人権に関する行動計画」を策定した意義を強調し、「コロナ禍でもリストラが止まらなくてなく、『追い出し部屋』などの酷い実態が職場にあることが交流された。国際労働基準を活用して、電機・情報ユニオンの役割をいっそう高め、活路を開いていこう」と呼びかけました。

発効した国際労働基準ILO第190号条約を学習し

職場に生かす活動を進めよう

米田委員長メッセージ95

ILO(国際労働機関)

第190号条約「仕事の世界における暴力とハラスメントの撤廃に関する条約」が2021年6月25日に発効されました。

ILOは早速、「職場での暴力や嫌がらせに対する意識を高め、政府にILO条約第190号を批准するよう奨励する」キャンペーンを開始しています。ILO第190号条約は暴力とハラスメントを、

「身体的、心理的、性的ま

たは経済的損害を目的とし、またはこれらの損害をもたらし、もしくはもたらすおそれのある」行動として、ILO加盟国は、その存在を「一切許容しない一般の環境」の醸成を促進する責任があるといっています。

2021年6月23日に厚生労働省が発表した2020年度の「過労死等の労災補償状況」では、改正労働施策総合推進法(パワハラ防止

法)で定義された「パワー

ハラスメント」にあったと180人が労基署に申請し、99人が労災に認定されています。その中には自殺、過労死に追い込まれている実態もあります。

現在、第11回定期大会の準備を進めています。電機情報関連産業のリストラ策は止まず、昨年1年間だけでも、7万3880人削減されています。日立や富士通での「追い

出し部屋」の告発、ソニー

の退職強要の告発、三菱電機での人権侵害の告発、そして多くの職場で「安心して働く環境改善」を求めて闘っています。

電機情報関連産業で続く「常時リストラ」「黒字リストラ」によって面談と称する退職強要が行われ、成果主義・業績主義による格差選別が行われ、労働者の人格も人権も侵害されています。

どれも電機の職場で起こ

っていることです。ILO第190号条約は、「仕事の世界における暴力とハラスメントを取り上げた国際労働基準」であり、電機の職場でこそ、この条約を生かした取り組みを進めたいと思います。

米田委員長メッセージ95

